

R P P Cメール

リサイクルポータル推進協議会

第539号(平成26年7月30日発行)

【今週号の主な内容】

- 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。
- 《RPPC 事務局からのお知らせ》 今週のお知らせはありません
- 《リサイクルポータルに関連する最新の情報》
 1. 「港湾の施設の技術上の基準」改訂に向けた検討開始
 2. 「建設汚泥(建設泥土)の適正処理およびリサイクルの手引き」
 3. 日建連、「東日本大震災災害廃棄物処理の報告」まとめ

=====

1. 「港湾の施設の技術上の基準」改訂に向けた検討開始

国土交通省港湾局は、「港湾の施設の技術上の基準」及び「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂に向けた検討を開始する。有識者等による次期技術基準に関するあり方検討委員会を設置し、現行の技術基準の運用上の課題や改善点を整理するとともに、防災・減災対策や老朽化施設の維持・点検の強化等といった社会情勢の変化に対応した基準づくりを進める。港湾局では平成 29 年頃までに改訂する見通し。

現行の技術基準は平成 19 年に改訂っており、同基準改訂によって導入された性能規定化や信頼性設計法等について、次期改訂では実務者がより分かりやすく取り組めるようユーザビリティの向上に関する検討を進める。

また追加すべき項目として▽大規模地震に備えた防災・減災対策、▽老朽化に対応する維持・点検、▽国際競争力の強化を目的とした大型輸送船舶への対応、などが想定されている。

【港湾空港タイムス】

2. 「建設汚泥(建設泥土)の適正処理およびリサイクルの手引き」

(一社)日本建設業連合会(日建連)環境委員会は7月22日、「建設汚泥(建設泥土)の適正処理およびリサイクルの手引き」をとりまとめた。建設汚泥の定義や技術動向、リサイクル化の事例等を示している。今後我が国ではリニア新幹線や東京オリンピック関連工事の増加などで大量の建設汚泥が発生することが予想されており、日建連環境委員会では建設汚泥のリサイクル化への取組を強化していく方針。

また建設汚泥はその殆どが土砂と同様の無機性、無害であるにも関わらず、法律上は「汚泥」とされることから下水汚泥、工業系汚泥と混同され、その呼称が再生利用の支障になっている。このため日建連では従来、建設汚泥の呼称を「建設泥土」に変更することを提唱しており、引き続きその呼称変更を自治体等関係方面に働きかけて行く。

【港湾空港タイムス】

3.日建連、「東日本大震災災害廃棄物処理の報告」まとめ

(一社)日本建設業連合会(日建連)は「東日本大震災災害廃棄物処理の報告」(副題～災害廃棄物処理を語り・伝える～)をまとめた。日建連では東日本大震災の発災1年後の平成24年3月に復旧・復興対策特別委員会を立ち上げ、復旧・復興の円滑な執行や工事の施工に係る課題解決に向けた調査・検討に取り組むと共に、国や地方公共団体など関係機関に対する要望活動や提言などを行って来た。そして日建連会員企業が携わった岩手県と宮城県における災害廃棄物処理業務は、計画通り本年3月末に完了した。

東日本大震災では災害廃棄物が2,000万トン、津波堆積物が約1,100万トン発生したが、その再生利用率は災害廃棄物が約82%、津波堆積物は99%の高い再利用を達成した。

同報告書はそうした活動内容をまとめると共に、同報告書が将来予測される「南海トラフ地震」や「首都直下型地震」により発生が懸念される未曾有の量の災害廃棄物処理業務の有用なスタンダードの一つになることに期待している。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC 広報部会

部長:徳田 英司 新日鐵住金(株)

部会員:細貝 隆司 五洋建設(株)

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設(株)

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当:本野、大矢、榎並 URL:www.rppc.jp E-mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####